

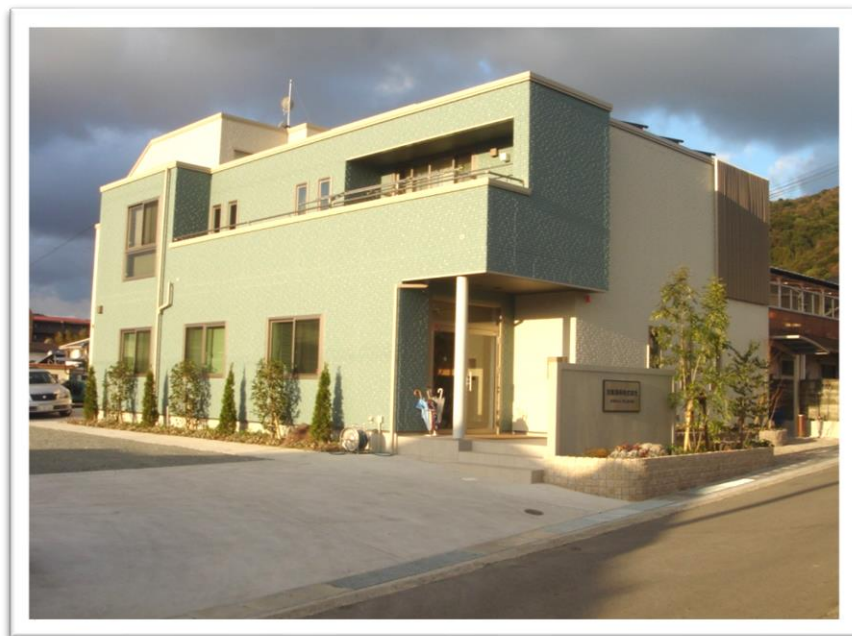
環境活動レポート

淡路清掃株式会社

2019年度版

対象期間 2019年4月～2020年3月

作成日 2020年4月30日



1) 組織概要

◇事業所名及び代表者

会 社 名 : 淡路清掃株式会社
 代 表 者 氏 名 : 代表取締役 横山 隆
 環境管理責任者氏名
 及 び 連 絡 先 : 横山 隆, TEL (0799)45-0413

◇所在地

本 社 : 南あわじ市山添606番地の1 TEL (0799)45-0413
 洲 本 支 店 : 洲本市中川原町市原834-1 TEL (0799)28-1134
 北 淡 支 店 : 淡路市斗ノ内1405-3 TEL (0799)82-3370
 ス ト ッ ク ヤ ード : 南あわじ市広田広田つづら谷1497

◇会社設立年月日

個 人 設 立 年 月 日 : 1954年4月10日
 法 人 設 立 年 月 日 : 1982年4月12日

◇事業規模等

事業年度		西暦/年度	2018年/30年度		2019年/31年度	
売上高		百万円	274		282	
資本金		万円	1,000		1,000	
環境活動に取り組みの人数		人	33		33	
床面積		m ²	675		675	
所有地		m ²	3,960		3,960	
部門別の車両種類及び積載量			台数	積載量	台数	積載量
浄化槽清掃部門	バキューム/3トン		5	3,000 ^{リットル}	5	3,000 ^{リットル}
	パッカー/3トン		2	2,950kg	2	2,950kg
リサイクル業務部門	パッカー/2トン		5	1,800kg	5	1,800kg
	ダンプ/2トン		3	1,800kg	3	1,800kg
	バキューム/5トン		1	5,200kg	1	5,200kg
	軽トラック		2	350kg	2	350kg
	アームロール/3トン		1	3,900kg	1	3,900kg
	アームロール/3トン		1	3,900kg	1	3,900kg
施設管理部門	高压吸引車/4トン		1	3,100 ^{リットル}	1	3,100 ^{リットル}
	高压洗浄車/2トン		1	1,000 ^{リットル}	1	1,000 ^{リットル}
	軽バン		7	350kg	7	350kg
営業部門	営業車		2		2	
合 計			30		30	
上記合計内のエコカー補助金対象台数			9		9	

2) 対象範囲

◇認証・登録範囲

事業期間：毎年8月1日～7月31日

対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日

対象事業所：淡路清掃株式会社 本社・洲本支店・北淡支店・ストックヤード

◇事業活動

- ◎ 一般廃棄物収集運搬業（し尿・ごみ）
- ◎ 下水道処理施設維持管理業
- ◎ 浄化槽設備工事・保守点検・清掃業
- ◎ 産業廃棄物収集運搬業
- ◎ 建築物飲料水貯水槽清掃業
- ◎ 建築物排水管清掃業
- ◎ 有価物リサイクル業

◇有資格者

2020年4月1日 現在

資格名	資格人数	業務対象範囲人数
浄化槽管理士	8 名	8 名
浄化槽技術管理者	3 名	3 名
浄化槽清掃技術者	3 名	3 名
浄化槽清掃実務者	4 名	4 名
浄化槽法11条検査員補	6 名	6 名
浄化槽設備士	1 名	1 名
下水道3種技術検定	3 名	3 名
下水道管路技術認定	1 名	1 名
2級管工事施工管理士	1 名	1 名
2級土木工事施工管理士	1 名	1 名
し尿汚泥再生処理施設技術管理士	1 名	1 名
貯水槽清掃技術監督者	2 名	2 名
第2種酸素欠乏危険作業主任者	2 名	2 名
フォークリフト運転技能	7 名	7 名
床上操作式クレーン	1 名	1 名
移動操作式クレーン	1 名	1 名
玉掛け	2 名	2 名
ガス溶接	2 名	2 名
安全衛生責任者・職長	2 名	2 名
運行管理者	2 名	2 名

◇受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)			収集運搬方法
			2017年度	2018年度	2019年度	
収集運搬	汚泥		168.0	135.0	140.0	バキューム
	廃油		0.0	0.0	0.0	ダンプ
	廃プラ		28.0	28.0	41.1	ダンプ
	金属くず		5.3	3.7	3.4	ダンプ
	木くず		1.3	0.3	0.0	ダンプ
	動物性残渣		0.0	0.0	0.0	ダンプ
	ガラス及び陶磁器くず		1.3	0.4	0.3	ダンプ
収集運搬 合計			203.9	167.4	184.8	

集計期間 毎年 4月1日～3月31日

◇受託した一般廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処理量(t)			収集運搬方法
		2017年度	2018年度	2019年度	
収集運搬	市民ゴミ (可燃物)	2,119	2,250	2,210	パッカー車
収集運搬	市民ゴミ (不燃物)	19	24	24	パッカー車
収集運搬	市民ゴミ (粗大ゴミ)	59	79	83	パッカー車

集計期間 毎年 4月1日～3月31日

◇許可の内容

◎産業廃棄物収集運搬業の許可内容

許可の年月日及び有効期限			許可番号	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
兵庫県	H30.3.30	R7.3.29	2809076480	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
堺市	H27.8.13	R2.7.24	6700076480	○	○	○	—	—	—	—	—	○	○

◎一般廃棄物収集運搬業

行政名	許可年月日及び有効期限		許可番号	備考
南あわじ市	R2.4.1	R4.3.31	南あ廃収運第2-17号	事業系一般廃棄物
南あわじ市	R2.4.1	R4.3.31	南あ廃収運第2-18号	し尿・浄化槽汚泥
洲本市	H31.4.1	R3.3.31	平成31年第31-2号	事業系一般廃棄物
洲本市	R2.4.1	R4.3.31	令和2年第3号	し尿・浄化槽汚泥
淡路市	R2.4.1	R4.3.31	淡生発第2690002号の2	事業系一般廃棄物
淡路市	R2.4.1	R4.3.31	淡生発第2690004号の2	し尿・浄化槽汚泥

◎浄化槽清掃業

行政名	許可年月日及び有効期限		許可番号	備考
南あわじ市	R2. 4. 1	R4. 3. 31	南あ廃浄清第2-5号	全域
洲本市	R2. 4. 1	R4. 3. 31	令和2年第3号	全域
淡路市	R2. 4. 1	R4. 3. 31	淡生発第2690005号の2	岩屋地域・北淡地域

◎浄化槽保守点検業

行政名	許可年月日及び有効期限		許可番号	備考
兵庫県	H27. 12. 27	R2. 12. 27	兵庫県知事第9-27-167号	洲本市・淡路市・南あわじ市

◎特例浄化槽工事業者

行政名	許可年月日及び有効期限		許可番号	備考
兵庫県	H14. 11. 15	なし	(届-14)第1200号	

◎下水道処理施設維持管理業

行政名	許可年月日及び有効期限		許可番号	備考
近畿地方整備局	H29. 1. 28	R4. 1. 27	処29-902	

◎建築物飲料水貯水槽清掃業

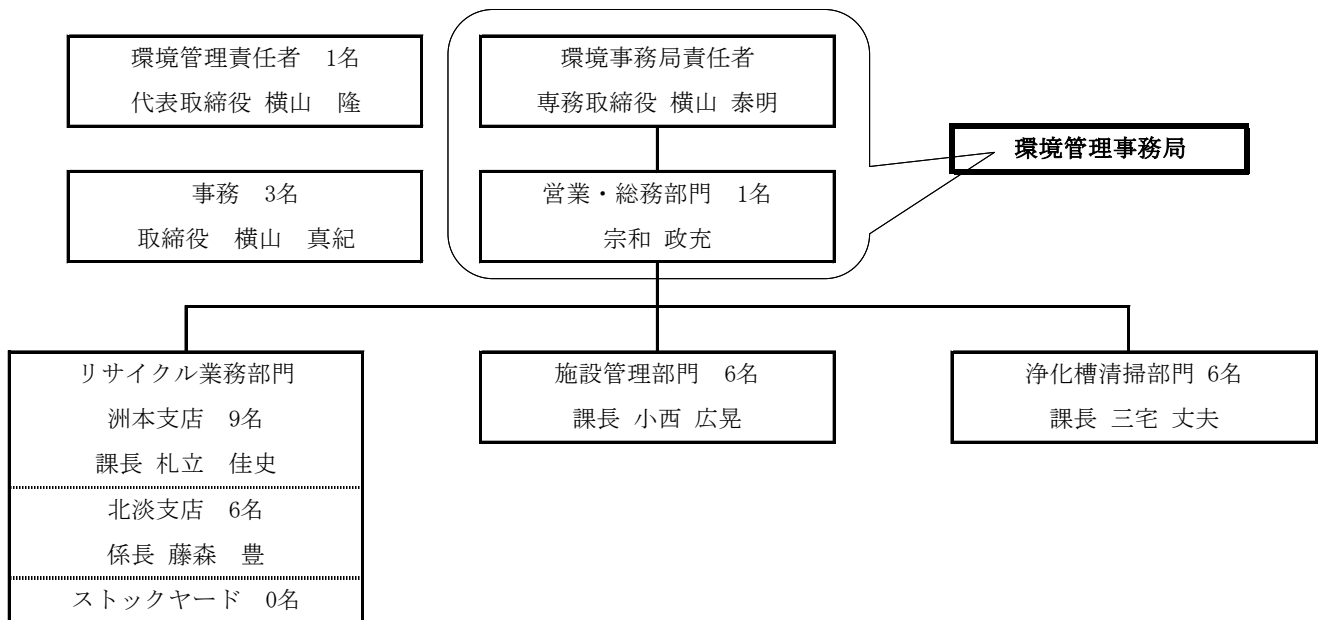
行政名	許可年月日及び有効期限		許可番号	備考
兵庫県	R1. 12. 1	R7. 11. 30	兵庫県13貯第16号の2	

◎建築物排水管清掃業

行政名	許可年月日及び有効期限		許可番号	備考
兵庫県	H28. 3. 25	R4. 3. 24	兵庫県27排第16号の6	

実施体制

◇組織図



環境活動の取組みに対する部門及び項目等

リサイクル業務部門	施設管理部門	浄化槽清掃部門	営業・総務部門
<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物収集運搬(ごみ) 産業廃棄物収集運搬 有価物収集運搬 パッカー車のメンテナンス エコドライブの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽保守点検 浄化槽修繕及び設置工事 下水処理施設維持管理 建築物飲料水貯水槽清掃 担当車両のメンテナンス エコドライブの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物収集運搬(し尿) 浄化槽清掃汚泥収集運搬 パキューム車のメンテナンス エコドライブの推進 	<ul style="list-style-type: none"> データ入力作業 書類の保管及び管理 環境システムの文書整理

各人の役割・責任

代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムについての全ての責任と権限 構築・運用・管理に必要な資源の用意 環境管理責任者の任命 環境方針の策定・見直し及び従業員への周知 代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システム等に関する責任者 環境レポートなどその他見直し 問題の発生の再発の防止をする
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施 環境目標及び環境活動計画書の作成 緊急事態等の手順書作成及び教育訓練の実施 クレーム並びに外部コミュニケーションに対応する
社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を理解して会社の取組に従う ヒヤリ、ハットや業務の上での問題点を会議で発表する 地域貢献の為、積極的に環境活動計画に取組意識を持つ

環境方針

淡路清掃株式会社

代表取締役 横山 隆

◎ 基本理念

私どもは、淡路島で一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬や污水处理施設の維持管理などの廃棄物処理をトータルで考えて企業活動を通じて環境活動に取り組む姿勢でいます。会社全体で環境活動に継続的に取組ことによって、自然豊かな淡路島の環境保全に貢献でき皆様に信頼される企業で在りたいと思います。

◎ 行動指針

- (1) 事業活動に伴い適用される関係法令である廃棄物処理法・浄化槽法等、及び当社との関係するすべての法規等を遵守します。
- (2) 収集運搬ではエコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取り組み二酸化炭素排出量削減の為に輸送に伴う燃料消費の低減に努めます。
- (3) 自社から排出する廃棄物排出量の削減に努めます。
- (4) 自社の水使用量の削減に努めます。(総排水量削減)
- (5) 水処理の為に使用する化学物質使用量の削減に努めます。
- (6) グリーン購入品の調達率の向上に努めます。
- (7) 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境への配慮を行うために排出業者への情報提供や指導を行い分別して資源の有効利用を行っていきます。

上記事項の改善のため、環境目標を設定するとともに、活動計画を策定し、定期的にその達成度を確認し、代表者による全体の評価と見直しを毎年6月に実施して環境方針の変更の必要性の確認をします。これにより、環境保全のための継続的改善に努めます。

1. 事業活動から生じる環境への有害な影響を可能な限り減少させるために努めます。
2. 「優れた技術」と「真心を込めたサービス」を提供します。
3. すべての従業員に会社の取り組みを周知させて業務に努めます。
4. 自社のホームページで公開します。

4) 過去の環境負荷、及び今後の環境目標

環境目標項目	単位	過去の環境負荷			(基準年度)	次年度	今後の環境目標			
		2015年度	2016年度	2018年度	2017年度	2019年度 (×0.98)	2020年度 (×0.97)	2021年度 (×0.96)	2022年度 (×0.95)	
① 購入電力	kWh	22,525	22,532	25,500	27,934	27,375	27,096	26,817	26,007	
	kg-CO2	11,758	11,762	13,311	14,582	14,290	14,144	13,998	13,575	
軽油使用量	L	65,022	69,851	70,219	69,225	67,840	67,148	66,456	64,448	
	kg-CO2	170,640	183,313	184,279	181,669	178,035	176,219	174,402	169,133	
ガソリン使用量	L	16,291	19,690	20,302	21,031	20,610	20,400	20,190	19,580	
	kg-CO2	37,822	45,714	47,134	48,826	47,850	47,362	46,873	45,457	
灯油使用量	L	153	166	168	168	165	163	161	156	
	kg-CO2	381	414	419	419	411	406	402	390	
LPG使用量	kg	10	10	不集積	不集積	不集積	不集積	不集積	不集積	
	kg-CO2	30	30	-	-	-	-	-	-	
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	220,631	241,232	245,143	245,496	240,586	238,131	235,676	228,556	
② 一般廃棄物量 (自社排出)	kg	1,630	1,730	1,554	1,548	1,517	1,502	1,486	1,441	
③ 上水道使用量	m ³	700	673	727	656	643	636	630	611	
		井戸使用量	117	68	81	53	52	51	51	49
		総排水量	817	741	808	709	695	688	681	660
④ 化学物質 使用量	ポリ硫酸第 2鉄	kg	15,762	17,830	21,465	22,732	22,277	22,050	21,823	21,163
	ポリ塩化アル ミニウム		2,150	2,424	2,118	1,818	1,782	1,763	1,745	1,693
	高分子凝集 剤		1,200	1,195	780	1,131	1,108	1,097	1,086	1,053
⑤ グリーン購入品	品目	133	132	120	122	124	126	127	128	

- (1) 二酸化炭素排出係数は0.522kg-CO2/kWhを使用しています。
- (2) 当社は事業規模の拡大とともに環境負荷が増大し、環境目標の改訂が必要となった為、2018年度より2017年度を基準年として毎年1%改善することを環境目標に変更しました。
- (3) 灯油のみ2017年度は使用していない為、2018年度の実績を基準年に使用するようにしました。

5) 環境活動計画・中長期

環境活動計画の中長期の内容の策定にはまだ至っていません。

6) 環境目標の実績

環境目標項目		単位	2017年度	2019年度			
			(基準年度)	目標値 (×0.98)	実績	評価 (1-実績/目標値)	
①	購入電力	kWh	27,934	27,375	25,311	7.54%	○
		kg-CO2	14,582	14,290	13,212		
	軽油使用量	L	69,225	67,840	71,377	-5.21%	×
		kg-CO2	181,669	178,035	187,307		
	ガソリン使用量	L	21,031	20,610	21,202	-2.87%	×
		kg-CO2	48,826	47,850	49,224		
灯油使用量	L	168	165	18	89.07%	○	
	kg-CO2	419	411	45			
LPG使用量	kg	不集積	不集積	不集積	-	-	
	kg-CO2	-	-	-			
二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	245,496	240,586	249,788	-3.82%	×
②	一般廃棄物量 (自社排出)	kg	1,548	1,517	1,524	-0.46%	×
③	上水道使用量	m ³	656	643	869	-35.17%	×
	井戸使用量		53	52	60	-15.52%	×
	総排水量		709	695	929	-33.70%	×
④	化学物質使用量	ポリ硫酸第2鉄	22,732	22,277	20,847	6.42%	○
		ポリ塩化アルミニウム	1,818	1,782	798	55.21%	○
		高分子凝集剤	1,131	1,108	861	22.32%	○
⑤	グリーン購入品	品目	122	124	125	0.80%	○

評価基準	
○	目標達成
×	目標不達成

注) グリーン購入品の評価は (1-目標値/実績) としている。

※灯油のみ2017年度は使用していない為、2018年度の実績を基準年に使用するようにしました。

◎ その他の取り組み結果

		2017年度	2019年度			2020年度
		基準年度	目標値 (×1.02)	実績	評価 (実績/目標値-1)	目標値 (×1.03)
浄化槽 （基数） 保守点検	みなし（し尿のみ）	342	349	357	2% ○	352
	小型合併 （し尿・雑排水等）	1148	1171	1209	3% ○	1182
	合併処理	64	65	64	-2% ×	66
	農集及び5000人以上	5	5	3	-40% ×	5
下水道処理施設維持管理 汚水量（m ³ /日）		892.5	910	856.3	-6% ×	919
⑦ 資源物 （kg） 分別	ダンボール	198,800	202,776	201,060	-1% ×	204,764
	新聞	4,940	5,039	5,900	17% ○	5,088
	雑誌/シュレッダー	42,440	43,289	23,020	-47% ×	43,713
	缶/スチール	6,100	6,222	6,170	-1% ×	6,283
	缶/アルミ	7,190	7,334	7,230	-1% ×	7,406
	びん/3種	19,295	19,681	23,860	21% ○	19,874
	雑鉄	13,920	14,198	12,700	-11% ×	14,338
	ペットボトル	5,390	5,498	2,080	-62% ×	5,552
	ペットボトルキャップ	3,000	3,060	1,680	-45% ×	3,090
太陽光発電量 kWh		5,000	5,100	4,879	-4% ×	5,150

注) 農集：農村集落排水污水处理施設, 雑排水：風呂・台所等排水

評価基準	
○	目標達成
×	目標不達成

7-1) 環境活動計画の取り組み結果とその評価

◎ 環境活動目標と活動計画

	環境目標の項目	環境活動計画の内容	評価
①	二酸化炭素排出量削減	・電気、エアコン等社内の電気設備の節電をする	○
		・社員全員がエコドライブを徹底する。とりわけ、アイドリングストップ励行。	△
		・計画収集を図り収集車両の走行距離を削減する	△
②	廃棄物排出量削減（自社からの廃棄物）	・分別の徹底化を図る	○
		・コピー用紙の両面使用やメモとして使いその後資源化する	○
③	総排水量の削減	・植木等の水やり・スプリンクラーの水量バルブの調整、及びそのインターバルの適正化を行う	△
④	化学物質使用量削減	・水処理に使用する化学物質使用量の削減を図る	○
⑤	グリーン購入品の調達	・社内で使用する文具等をグリーンマーク品の購入に努める	○

◎ その他の目標及び活動計画

	環境目標の項目	環境活動計画の内容	評価
⑥	受託した産業廃棄物収集運搬における環境への配慮	・排出業者への情報提供や指導を行い分別して資源の有効利用を図る	△
⑦	資源物のリサイクル率の増加	・ダンボールを主体で取り組んでいた分別をアルミ、スチール、ペットボトル等の可能な限り資源リサイクルに取り組みの強化を図る	△
	みなし浄化槽保守点検基数増加	・みなし浄化槽の保守点検の未実施の家庭にパンフレット等で説明を行い保守点検を受検してもらうように努める	○
	小型合併浄化槽保守点検基数増加	・台所からのアルコールや調味料等の負荷の高い物質を浄化槽に流さない指導や風呂水を一度に排水しない方法など節水指導等も指導していく	○
	合併処理浄化槽保守点検の効率化	・塩素を効果的に使用して削減を図る	△
	農集・コミプラ及び下水道等汚水処理施設維持管理	・流入水量が増加しても化学物質の使用量の削減を図るために努力する	○
	太陽光発電量	・発電量を維持するため定期的にガラス面の掃除をする	△

取り組み結果への評価基準	
○	できていた。
△	充分ではなかった。
×	できていなかった。

7-2) 環境活動計画の次年度取組内容

◎ 環境活動目標と活動計画

	環境目標の項目	環境活動計画の内容
①	二酸化炭素排出量削減	・社員全員がエコドライブを徹底する。とりわけ、アイドリングストップ励行。計画収集を図り収集車両の走行距離を削減する
②	廃棄物排出量削減（自社からの廃棄物）	・社内のごみの分別の徹底化を図り、コピー用紙の両面使用やメモとして使いその後資源化する
③	総排水量の削減	・植木等の水やり・スプリンクラーの水量バルブの調整、及びそのインターバルの適正化を行う
		・洗車時には蛇口の開け閉めを徹底し、節水に努める
④	化学物質使用量削減	・水処理に使用する化学物質使用量の削減を図る
⑤	グリーン購入品の調達	・社内で使用する文具等をグリーンマーク品の購入に努める

◎ その他の目標及び活動計画

	環境目標の項目	環境活動計画の内容
⑥	受託した産業廃棄物収集運搬における環境への配慮	・排出業者への情報提供や指導を行い分別して資源の有効利用を図る
⑦	資源物のリサイクル率の増加	・資源リサイクルにできる物は、可能な限り資源リサイクルに取り組むように努める
	みなし浄化槽保守点検基数増加	・保守点検の未実施の家庭にパンフレット等で説明を行い保守点検を受検してもらうように努める
	小型合併浄化槽保守点検基数増加	・保守点検の未実施の家庭にパンフレット等で説明を行い保守点検を受検してもらうように努める
	農集・コミプラ及び下水道等汚水処理施設維持管理	・化学物質の使用量の削減に努める

8) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の収集運搬時及び廃棄物の排出時の適切な取扱と処理	遵守
浄化槽法	浄化槽の設備工事・保守点検・清掃業での適切な取扱と処理	遵守
下水道法	定められた適切な水質以内での下水道への排水	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適切な廃棄の処理	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器（TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコン）の適切な廃棄の処理	遵守
PRTR法	特定化学物質の排出量及び移動量の届出（但し、届出が必要な条件は満たしていない）	遵守
自動車NO _x ・PM法	対象地区内での排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
消防法	防火のための措置及び防火・消火設備の設置・点検・整備による維持管理	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易定期点検の実施及び記録とそれの保存	遵守

※ 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果、違反はありませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘及び訴訟等は、過去5年間ありません。

代表者による全体評価と見直し結果

弊社は、環境活動の重要性を認識し、継続的かつ有意義な活動や会社全体の意識改革を目的に考え、自然豊かな淡路島で、環境事業を行う企業として責任のある業務を行うことにより、行政や市民に信頼や安心をいただき、「持続可能な社会」の実現をめざして、エコアクション21の取得を決意しました。

これからも社会や経済に環境の変化があると思いますが、自社の環境方針を定めて環境目標を適切に設定して、より一層の環境負荷低減のため会社を挙げて取り組んでまいります。

《環境目標の達成状況》

1. 2019年度はガソリン、軽油ともに増加し二酸化炭素排出量も併せて増加してしまっただが、売上の増加に伴い顧客も増加しており、平年並みの使用料だったので省エネ運転、仕事の効率化に努めているように見られるが目標の達成を意識するように努めたい。
購入電力は意識して節電に努め、目標の達成ができたので今後も維持したい。
2. 自社から排出される一般廃棄物の削減は目標に達成でき、分別等これからも続けたい。
3. 上水道、井戸水の使用が年々増加しており目標の達成ができていない。洗車や事務所での使用の際には、徹底して開け閉めを心掛け節水に努めたい。
4. グリーン商品の購入は、できるだけ意識して購入できているが、購入しすぎは経費面の不安もあるので調整して購入していきたい。
5. 化学物質使用料は目標の達成ができ、意識して削減できているので今後も続けていきたい。
6. ごみの資源化については、年度始まりの市の委託業務の落札具合で大きく変動があり、2018年度以降落札件数が減っている為、減少傾向にあるが、社員には顧客への分別の指導等するように徹底したい。

《環境活動計画の実施及び運用結果》

環境目標と環境活動計画や取組に問題点が出る場合は、改善会議を年に3回開催しているので期間の途中でも計画の変更など問題点を是正する。

《環境関連法規の遵守状況》

2020年4月1日現在、関連法規の遵守を確認した。

《外部からの環境に関する苦情や要望等結果》

2020年4月1日現在、関係行政からの指導や外部からの苦情や要望の受付もなかった。

《環境方針、環境目標、環境活動計画の見直し状況》

環境目標の設定の灯油のみ2017年度は使用していない為、2018年度の実績を基準年に使用するようにしました。

《経営システムの実施状況》

従業員に対して安全運転の指導の徹底を図る。また、定期的を開催する会議や外部の講習などを利用して、環境に対して意識を持たせて教育訓練システムを経営に取り入れたい。

2020年4月30日

淡路清掃株式会社

代表取締役 横 山 隆